

**第64回
定期代議員総会**
5月11日(土)9時30分～
大和市渋谷学習センター

厚木爆同

【発行】
厚木基地爆音防止期成同盟
発行責任者 石郷岡 忠男
事務所 大和市桜森3-5-3
フロント1F
TEL 046-240-7450
FAX 046-261-5615
bakudou@kanagawa.email.ne.jp

基地被害をなくせ！！

厚木爆同委員長「石郷岡 忠男」



希望に満ちた
2024年が始
まりました。
元日早々に、
能登半島地震で

多くの方が被災されました。心か
らお見舞い申し上げます。

厚木爆同も結成以来64年が経ち
ました。ひたすら静かな空を願
い運動を続けて来ましたが、今も爆
音はなくなりません。

今年、第五次訴訟団が横浜地
裁の判決を迎えます。飛行差し止
めの判決を勝ち取りたいと思いま
す。

私たちの運動の成果として艦載
機の岩国への移転がありました。艦載
機の空いたスペースを使っ

学習会を開催 NHK受信料について

昨年11月26日に、
弁護士の福田護さ
んを講師にお招き
し、「NHK放送受
信料問題について」
学習会を行いました。
2017年に出
された最高裁判決
によって、NHKと
契約を結んでいな
くても提訴されれ
ば、テレビが設置
されてからの受信
料を支払う義務が
生じることとなり



11月26日の学習会には多くの会員が参加

ました。そこで、最初のお話しは、
契約をせずに不払いを続けている
場合と契約済みで不払いを続けて

新たな訓練が次々に行われ、なか
な騒音の被害は減りません。

P-3C対潜哨戒機の老朽化に
伴って新たにP-1哨戒機が配備さ
れました。それだけにとどまらず、
P-1の教育機関の基地となり、頻

繁に飛行を繰り返すようになりま
した。また、厚木基地所属でない
ジェット機の飛来も頻繁に行われ

るようになり、特に多国籍で行わ
れる合同訓練も増えて、その時に
はオスプレイの参加も多く行われ
ます。

私たちはオスプレイが日本に配
備された時から、世界で一番危険
な航空機であるとして、日本の上
空で飛行することに反対の立場で
運動を行ってきました。

その心配が現実となったのが、
昨年11月29日の屋久島のオスプ
レイ墜落事故です。8人の死亡者
が出た今回の事故は日本では初め
ての大きな事故で、私たちの心配
が現実になったことを残念に思い
ます。

事故があった11月29日には、厚
木基地に4機のオスプレイが着陸。
12月6日まで、厚木基地で訓練を
していました。

さすがに米軍も今回の事故はオ
スプレイの構造上の欠陥と認め、
全世界のオスプレイ470機以上
の運航停止を決め、現在は世界中
の空でオスプレイの飛行は中止さ
れています。このままオスプレイ
の飛行は全世界で中止をしてもら
いたい、というのが私たちの本音
です。

厚木基地の心配事は、それだけ
にとどまりません。
昨年全国的に問題になったのは、

いる場合の対応についてでした。
その後、それぞれの不払い者の
実数について報告があり、実態と
してどちらも900万世帯ほどの
不払い世帯がある状況で、1人ひ
とりを提訴するには大変な時間
を要し現実的ではないことをお話
していただきました。そして、
時効制度の活用方法やNHKか
らの受信料請求への対応などに
ついて学習しました。さらに、提訴
された場合についても、途中で和
解決するということもできます
し、時効によって必ずしも全額支
払うということにはならないとの
説明がありました。

PFA5(有機フッ素化合物)の汚
染問題です。地下にしみ込んだP
FA5は、除去するのが難しい物
質です。基地に隣接する引地川や
基地内を流れる蓼川等から地下に
もぐって地下水の汚染を引き起こ
しているのは、何年にもわたって
流し続けてきた結果です。
また、忘れてはいけないことで

は、航空機の部品落下事故がたび
たび起こっていることです。たっ
た一個のネジがなくても、それが
墜落事故につながる恐怖を、私た
ちは常に持っています。こんな生
活から、もう脱出しましょう。
皆様と協力して運動を強めて行
こうと考えています。
今年もよろしくお願ひ致します。

オスプレイの墜落事故抗議・配備撤回! 基地司令官に申し入れ

昨年11月29日に
乗員8名が死亡し
たオスプレイの墜
落事故を受けて、
厚木爆同など4団
体は12月6日、厚
木基地正門前で抗
議集会を持ち、米
軍厚木基地司令官
にオスプレイの飛
行停止・配備撤回
などを求めました。



12月6日基地への抗議と申し入れ

受信料相談担当者に電話を

今回の学習会では特に、NHKが
強引な勧誘などで評判が悪かった
訪問員制度をやめ、その代わりに
宛名無し封書を大量に送りつける
という事が行われるようになり、
不安を訴える会員もいました。ま
た、新たに導入される割増制度に
ついて、今後の課題として提起
され、充実した学習会となりました。

これからも、受信料問題につ
いて不安なことがありましたら、厚
木爆同が製作した「NHK受信料
問題の問答集」を参考にしてい
ただき、そこに掲載してあります受
信料相談担当にお電話してください。

**飛行差し止め署名
ご協力ありがとうございました**

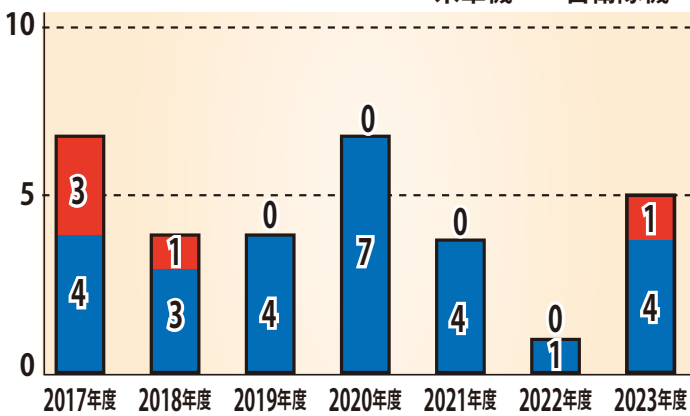
横浜地裁に宛てた「飛行差し止
め判決を求める署名」は、全体で
3万2千350筆いただきました
(1月26日現在)。ご協力ありが
とございました。

綾瀬支部新体制へ

綾瀬支部長を務めていた貝津正
孝さんがご逝去されたため、越川
好昭副支部長が新たな綾瀬支部長
になりました。新たな副支部長は
坂田好喜さんです。



●部品落下事故件数
2017年4月～2024年1月



生命の危険 重さ7kgの部品が落下

昨年12月、米軍のヘリコプターMH-60Sから、機体後方の重さ7kgのアルミニウム製の部品一部が落下する事故が起きました。落下地点は不明ですが現在、被害は確認されていません。

重さ7kgのモノが上空から落ちてくると、家屋や自動車などは大破し、人間に当たれば死亡事故になります。

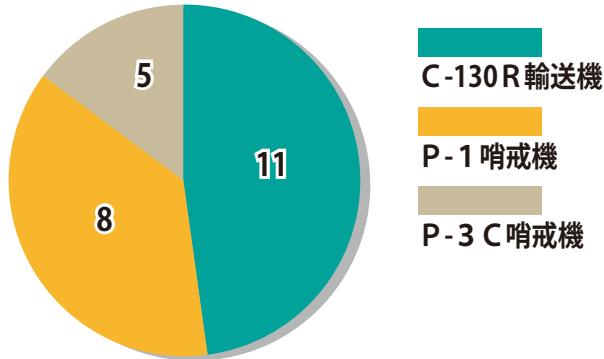
米軍機は過去には部品落下で、自動車を破損させる事故を何度も起こしています。2018年9月には、大型ヘリMH53Eが厚木基地を離陸した際に、2×3メートルの高さから窓と窓枠を落下。

2014年1月には、空母艦載戦闘機「FA18Eスーパーホーネット」から鉄製部品が落下し、綾瀬市内の路上



2012年9月の部品落下で交通規制

●自衛隊機の機種別部品落下件数
2017年4月～2024年1月



に駐車していた車両の窓などを破損。2012年9月には、空母艦載の電子戦闘機ブラウラーが厚木基地北側に金属のパネル部品6個を落下。一部は最大で約220センチの幅があり、一部は通行中の乗用車の屋根を直撃しましたが、人がありませんでした。

自衛隊機も小さな部品ですが、落下事故が絶えません。

部品の落下事故は、一歩間違えば大事故につながります。米軍や自衛隊には整備点検と安全飛行を強く要請します。

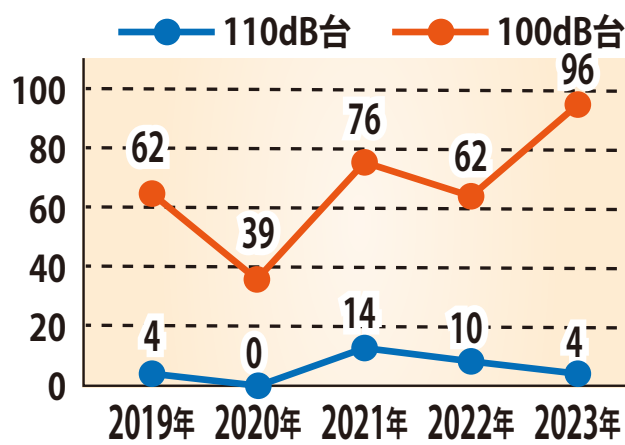
静かになつたとはほど遠い爆音

―昨年一年間の騒音状況―

厚木爆同は、米空母艦載機の移転を2018年3月末に実現させました。艦載機の移転により、騒音は減少傾向となりましたが、昨年1年間の騒音測定回数は13145回もあり、決して静かになつたとはいえません。空母艦載機の岩国基地移転以後も2021年の15034回をピークに、毎年1万以上の騒音を測定しており、騒音被害が続いている実態がはっきりしています。

その原因としては、自衛隊のP-1哨戒機の離着陸訓練が連日長時間にわたって繰り返され、さらには最近の厚木基地の使われ方にあります。今まで厚木基地では行われなかった訓練や、新たな使用によって基地機能が強化され、ジェット戦闘機の激しい爆音が住民の生活を脅かすのです。

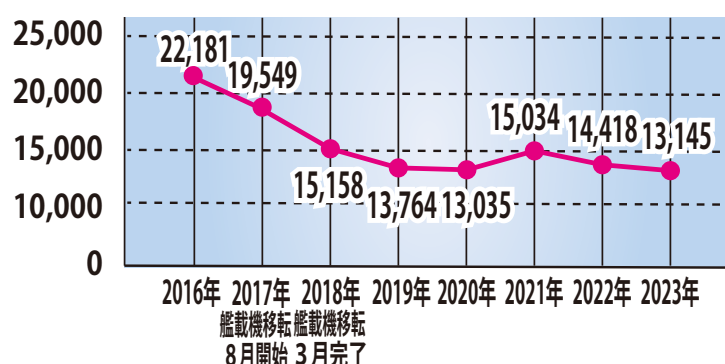
●厚木基地の100dB以上の騒音測定回数



dBが多く記録されている月をみてみると、米空母が横須賀に入港しているときと連動しているのです。昨年の騒音の最高値は112.7dBでした。

艦載機の移転後も騒音状況が続き、静かになつたと言える状況ではありません。静かな空を取りもどすため、引き続き力を合わせて取り組んでいきましょう。

●厚木基地北1Km地点の年間騒音測定回数の推移



聞スロ-聞スロ-

(厚木爆同会員の声)

昨年11月29日に米空軍オスプレイCV22が鹿児島県屋久島沖で墜落し、乗員8名全員が死亡するという痛ましい事故があったのは記憶に新しいことです。これを受けて米軍もやっとならざるを得ない状況です。オスプレイ全機種の飛行停止を12月6日に決め、7日から実施しました。

着陸でき、飛行機のように高速で輸送できるような機能を求められた結果、ローターを90度動かすという複雑な構造が必要となりました。しかも空母に載せるという目的もあり、主翼の長さも制限されました。主翼が長いと空母の格納庫に入れるためのエレベーターに収まらないからです。

オスプレイはその製作段階から無理が重ねられた機種でした。ヘリコプターのように滑走路がなくても離

は、世界各地で墜落や不時着を繰り返しました。原因は機械的なものという

このオスプレイが、相模原市南区上鶴間の我が家の上空をしばしば飛行していました。横田基地のオスプレイが、横田基地と厚木基地を大回りする形で何周も周回飛行を繰り返すのです。高空を飛ぶのでなかなか目立ちませんが、いつ墜落するか、不安はぬぐえません。飛行停止を受け、このまま禁止となつてほしいと願っています。

ことで、やっと飛行停止となりましたが、いつ再開されるかわかりません。

(相模原支部 山村充夫)

